

平成18年10月25日 9月定例会



平成17年度

昭和村

特 行 い 別 平 会計決算認定に 成 歳 17 入総額 年 ·度昭 和 70 億 村 2 つ 般 61 会計 5 7 6 審 2 議 及

4千円 万1千円を認定しました。 歳出総額65億 4 4 8 万 を

び

行状況と財政運営状況につ 会計及び特別会計の予算執 平成17年度における一 般

より増加したものの、

村税は7億2千万円で前年

高水準で推移するので、 水事業の返済が、しばらく

重な財政運営が望まれます。

源比率3・7%と低く、

経費の節減に努められた結 る。これは、限られ財源 支は各会計ともに黒字であ て審査した結果、 各種事業の選択を行

> と高い 千万円で、

い水準が続いている。円で、公債費比率13%

13

公債費は

平成17年

一度がピ

・クで以降減少するが、

債 赤

果であると受けとめます。

財源1億2千万円で、本村の財政構造は、

自主 自主

務負担行為及び農業集落城西麓土地改良事業等の

実質収

野 男 氏

8 % と、

依然として硬直

している。

公債費

見は4億

9 化

ある。 である経常収支比 に占める割合は 財 政 政の弾力 0) 16 率は 7 % 判 断

決算審査総括的意見

代表監査委員

監査委員

松井源之助

氏

依存財源 67 3 %

目主財源

32 7 %

村税

(16.7%)

7億2,730万5千円

繰入金 (5.9%)

2億5,832万3千円

その他 (7.2%)

3億1,509万1千円

地方交付税

16億6,200万6千円 (38.1%)

万5千円(前年度比6.0%增)

水準にあり、交付税などの依存財源に頼らなければなら

事業の見直しを行い、効率の良い財政運営が望まれます。

千円(前年度比4.9%増)

県支出金

6億2,472万1千円 (14.3%)

地方譲与税

諸収入

(2.9%)

1億2,573万7千円

(寄附金・分担金・使用

料・繰越金など)

1億7,365万2千円 (4.0%)

村債

1億6,860万円 (3.9%)

交付金

1億6,740万1千円 (3.8%)

国庫支出金

1億3.929万9千円 (3.2%)

特別会計

国民健康保険事業特別会計(賛成多数)

歳入総額

9億3,152万2千円

歳出総額

(前年度比 1.3%減) **8億4,930万3千円**

(前年度比 4.6%増)

老人保健事業特別会計(賛成多数)

歳入総額

8億4.884万9千円

(前年度比 6.3%増)

歳出総額

8億 701万4千円

(前年度比 4.4%增)

簡易水道事業特別会計(全員賛成)

歳入総額

1億2,865万1千円

歳出総額

(前年度比 15.0%減) **1億 485万5千円** (前年度比 19.0%減)

農業集落排水事業特別会計(全員賛成)

歳入総額

2億9,649万9千円

(前年度比 17.8%減)

歳出総額

2億8,474万8千円 (前年度比 18.5%減)

介護保険特別会計

歳入総額

(賛成多数) 4億5,796万8千円

歳出総額

(前年度比 4.3%増) **4億3,231万7千円** (前年度比 2.7%増)

17年度の主な事業

総務費

- ・借上げ賃貸住宅事業
- ・路線バス運行費補助金

民生費

- ·子育保育園改築工事補助金
- ・大河原学童クラブ建築工事
- ・在宅重度心身障害者デイサービスセンター「燦| 建築工事
- ・特別養護老人ホーム「菜の花館」建設費負担金

衛生費

- · 予防接種 各種検診委託事業
- · 沼田市外2箇村清掃施設組合負担金

農林水産業費

- · 堆肥舎等処理施設整備費補助金
- ·農村総合整備事業(農道2号)
- · 農地等高度利用促進事業(追分地区)
- ・里地棚田保全事業 (シカ除けフェンス設置工事)

土木費

- · 橡久保線道路改良工事
- ・除雪費用

消防費

·消防団第5分団詰所新築工事

教育費

- · 大河原小体育館耐震補強工事
- ·児童生徒遠距離通学費負担金



デイサービスセンター「燦」

WIN . MIL T. BURNER AND . MILES

子育保育園

一般会計(贊成多数)

本村の財政構造は、自主財源の構成比が32.7%と低ない状況です。行政効果を踏まえた各種施策の選択と、

歳出

人件費

7億5,081万8千円 (18,5%)

公債費

4億9,251万3千円 (12.1%)

扶助費 (6.0%) 2億4,546万2千円

普通建設事業費

9億3,136万8千円 (23.0%)

物件費

3億9,991万1千円 (9.8%)

補助費

6億9,780万円 (17.2%)

繰出金・その他 5億4,694万2千円 (13.4%)

投資的経費 … 23.0% その他経費 … 40

4%

36

9月定例会は、9月6日(水)から15日(金)まで の10日間の会期で開催されました。

補正予算を含む議案9件、議員発議2件が上程 いずれも原案のとおり可決されました。

最終日の一般質問では3名が登壇し、村の姿勢 を問いました。

夕張市のような心配はない か。また、裏金づくりはな には載っていません。裏金 はどうか。 いと思うが、チェック体制 に当たるような支出はござ 金はないので、決算書 本村では、一時借入

たとして財政破綻に陥った より借金と赤字を隠してい ない一時借入金などに 予算、決算に、表れ

思います。 受けているので心配ないと 受けており、種々ご指導を 総事業費3億円をか

駄遣いだったのでは。 なりましたので、皆様方と されていないが、税金の無 森林公園は、ほとんど活用 けた望郷ライン沿いの 来ていただけるように 村外から大勢の人に

いません。監査を定期的に

国にどんどん言っていく考 えでいます。 れているのか憂慮している。 ことを考えてやってく 本当に国は、国民の また、役場庁舎の地盤の耐 対策はどうなっているか。 の作成や、高齢者世帯への 災マップ、ハザードマップ 時要援護者リスト、防 く調査し検討したい。 今後、行政需要をよ 防災対策での、災害

震性については、必要に応 討したい。役場の地盤の耐 ることが必要なので今後検 じて対応したい。 の知識を正しく共有す 住民が災害について

な決算

るま式に増やされてい 高齢者の負担が雪だ

想と、その対応について聞 る問題について、村長の感 あるか。 時間外手当を減らす考えは 設にしたいと思います。 に多くの人に活用される施 に時差通勤を導入して、 人件費を減らすため

震性は大丈夫か。

環として3万円に改正する 本村では、子育て支援の一 円に改正されたことに伴い、 国の基準が3万円から3万 割に改正。 また、出産育児一時金

条例 する条例の一部を改正する 昭和村福祉医療費支給に関

なりました。 食事・居住費が自己負担に 養病床に入院する場合の、 70歳以上の高齢者が、療 (全員賛成)

英知を結集して当初のよう 昭和村税条例の

条例改正

一部を改正

の規約変更

合併により、

榛名町が高

する条例 法人格を持ち営利を目的

の改正。 減免対象に位置付けるなど 寄与する法人を、村民税の としない社会的貢献活動に (全員賛成

るもの。

(全員賛成)

和解及び損害賠償額の決定

村道上に空いた穴による

崎市に編入されたことによ

37万円に

件に対し、村が賠償金を支 通行車両のタイヤ等破損3

昭和村国民健康保険条例の

払うもの。

(全員賛成)

の医療費負担を2割から3 部を改正する条例 70歳以上の現役並所得者

(全員賛成

正予算

一般会計

158万6千円追

加

35 **総** 億 3, **額** 障害者自立支援システム使 障害者相談支援事業委託料 、料等の増額。 (全員賛成) 路線バス運行費補助金、 018万6千円

国民健康保険事業特別会計

862万2千円追加

安定化事業拠出金等の増額。 8億8,866万円 新規事業の保険財政共同 全員賛成

その 他

群馬県市町村総合事務組合

議員発議

義務教育費国庫負担制度の維持についての意見書(抄)

義務教育費国庫負担制度は、義務教育の機会均等とその水準の 維持・向上及び地方財政の安定のため、国が必要な財源を保障す るとの趣旨で確立されたものである。この制度を縮小・廃止する ことは、地方における義務教育に必要な財源の確保を困難にし、 義務教育の地域間格差を生じさせることにつながるだけでなく、 厳しい財政運営を余儀なくされている地方自治体の財政に大きな 影響を与えるものであり、義務教育行政の円滑な推進に重大な影 響を及ぼすものである。

よって、義務教育費国庫負担制度の維持を強く要望する。

平成18年9月15日

群馬県利根郡昭和村議会

関係省庁・衆参両院議長に

意見書を提出 4 億 9, 総 払基金への償還等の増額。 国·社会保険診療報酬支 951万4千円 全員賛成

部を改正する条例 昭和村議会委員会条例の

介護保険特別会計

576万2千円追

加

発

議

8億2, 633万2千円

(全員賛成

改 E 後

. 村政一般、庶務、民 員会に属さない事項 -般、庶務、民生、保健、他の委 総務昆生(6人)

しま

.教育、産業、経済、土木、建設、簡易 水道、農業集落排水等に関する事項 文教產建(6人)·

通行車両のタイヤ等が破損

したため、村が賠償金を支

和解及び損害賠償額の決定

決処分

村道上に空いた穴により

委員会構成を改正。 12人になることから、 会議員選挙から議員定数が 1月26日投票の昭和村議 常任

(全員賛成

滌(6人) 民生文教(5人)

伴う負担金、

公共土木施設

產業建設(5

35億9, 383万4千円

全国消防操法大会出場に

(全員賛成

I 一予算 払うもの。

(全員賛成

280万円追加

簡易水道事業特別会計

般会計

364万8千円追加

総 1 億 2, 額

の交換、 計設置工事費の増額 込まれるため、取水ポンプ 道使用量の大幅な増加が見 関屋工業団地における水 674万8千円 保守点検及び水位

増額など。 伴う道路災害復旧工事費の (全員賛成

いずれも原案のとおり承認・可決されました。決処分事項の承認1件、補正予算2件が上程さ、第6回臨時会が10月16日に招集されました。 補正予算2件が上程され、 災害復旧事業の補助対象事 業として認定されたことに 専

一のうごき

総務常任委員会での審査のようす

交換を行いました。

「手話通訳関連事業

民生文教常任委員会で

9月11日に行われた

民生文教常任委員会

は、付託された陳情書

についての審査と意見

9月13日行われた総

7月24日までにアナロ については、平成23年 審査と17年度決算につ 託されました陳情書の ル放送に関する陳情書 いての質疑を行いまし 務常任委員会では、付 はじめに地上デジタ

審査といたしました。 として全会一致で継続 陳情であります。情報 放送の存続等を求める ることから、アナログ タル放送へと移行され 十分な調査研究が必要 化に向けた変革であり、 また、17年度決算に

グ放送が終了し、デジ

第二保育園

度が、国 について」 度の維持 教育費国 は、同制 庫負担制 財源を保 「義務

域の農家の方を中心に 幅工事の陳情では、地

村道中田松原線の

となることから、利 切であり理解できるが、 興整備組合の理事会で 根沼田広域市町村圏振 推進と、無料化を要望 沼田広域圏での事業の ことから全会一致趣旨 広域事業の絡みもある しています。障害者に も広域事業として検討 するもです。現在、利 から市町村が行う事 やさしい村づくりは大

採択とい

れていますが、手話通

本年度段階的に実施さ

害者自立支援法が国会

いては、昨年10月に障 に関する陳情書」につ

において可決成立し、

訳関連事業は今年10月

た。 たしまし

産業建設常任委員会

した。 疑・意見交換を行いま についての審査と、質 は、付託された陳情書 産業建設常任委員会で 9月12日に行われた

致採択といたしました。 ないことから待避所も あり、相互通行もでき で採択となっていた「村 カットによる工事方法 定例会において、路面 必要と判断し、全会一 次に、平成16年12月



村道中泉坂線

公共物用途廃止申請地を調査

れました。 故発生状況、 んでいるのか、交通事 活発な意見交換が行わ どうなっているかなど 介するビデオの作成は ているか、昭和村を紹 土地・家屋の調査は准 定資産の見直しによる 審查終了後、公共物 収納状況はどうなっ いての質疑では、 国民年金

意見がありました。

産業建設常任委員会で 用途廃止申請が出され 村になるよう期待して るい元気な、 将来税収も見込め、明 社の企業進出が決まり、 村も関屋工業団地に3 依存財源が頼りの本 住み良い

途廃止を承諾された

廃止は考えるべきとの め支障にならない用途 自主自立の当村として 地調査いたしました。 一越地内の申請地を現 自主財源確保のた ました。 障するとの趣旨で確立 あっては困ることから 務教育に地域間格差が されたものであり、 全会一致採択といたし

改修工事が完了した第 スト対策に伴う外壁等 審査終了後、 アスベ

> 行 一保育園の現地調査 いました。 を

> > ました。すでに道路

しての必要性がないこ

義

整 材確保に努めていただ くようお願いしました。 い、今後は優秀な人 ハード面での整備が 各学校・保育園とも

> 路の用途廃止を全会 書もあることから、道 とや隣接地権者の承諾

第二保育園のアスベスト対策に伴う外壁等改修工事が完了

請地の現地調査を行 申請が出されている申 から、公共物用途廃 いを受けたいとのこと 道路の売り払

とを条件に、 を徹底していただくこ う地元の方に維持管理 行い協議した結果、 行いました。地権者立 道中泉坂線舗装工事 で舗装することに全会 水管路が詰まらないよ 会いのもと現地調査を ったことから再審査を で地権者から反対があ について、工事の段階 致で決定いたしまし 現状路盤 排

では、農業も今後は大 うお願いしました。 者に対する補助事業を 規模拡大を目指す農業 体制づくりや、新規に 補助事業が受けやすい 必要であり、国や県の ればならない時代を迎 きく変わっていかなけ いての質疑・意見交換 致承諾いたしました。 みつけ情報提供するよ え、補助事業の活用が 平成17年度決算につ

村道中田松原線の陳情箇所を調査



国民の義務

「納税」

の状況を問う

対策についてお聞きしたい。 の納付状況と、滞納者への な収入源である。各種税金 金は、自主財源として大切 状況であり、村民税等の税 間 交付税に頼っている 本村は、国からの

村

課税分の約1%が毎年滞納 2名分) であり、共に現年 額約1,214万円(10 約468万円(100名分) ては徴収率96・2%、滞納 である。固定資産税につい 徴収率は9・7%、滞納額 17年度決算での村民税の

> 増、5年前に比べ1,81 世帯分)で、前年対比12% 約3,485万円(124 国民健康保険税の滞納額は 〇万円多くなっている。 繰越となっている。 また、

行い、誠実な納税の意志を 渉と財産調査等を並行して ばならない。大口滞納や納 ※滞納額は過年度分を含む などの処分に着手している。 付に誠意のない悪質滞納者 示さない時は、財産差押え については、早期の納付交

> 6月末現在累計で365万 く生徒指導を行っている。 4校の給食費の未納額は 080円 (32名分) で

> > っている。 職員等により未納整理を行 者、事務局、給食センター ある。教育委員、学校関係

交差点の改良を

でなく公平に徴収しなけれ 税は、公平に課するだけ によっては長い渋滞となり あるため、降雪時や時間帯 町の交差点は、変則信号で ぶ最も重要な上沼須 本村と沼田市を結

変則信号が改善 ます。交差点の改良を行い、

けていただきた 沼田市へ働きか されるよう県と

累計の数値です。

長

位置付けをして が必要であると 道路改良の整備 坂線についても 市道国立病院市 業を示しており、 トワーク整備事 に生活道路ネッ の基本計画の中 第4次総合計画 沼田市では

生徒が5名いる。

不登校及びその傾向にある せん。中学校については、

聞きしたい。

ウンセラーを配置していた

専門的立場のスクールカ

答 教育長

小学校についてはおりま

全教職員の共通理解に基づ 指導委員会などを通して、 だいたり、職員会議や生徒 食費の納付状況についてお について、また、4校の給

問

の状況及びその対応

小中学生の不登校

不登校の状況は

す。 向け、 機関にお願いをしていきま 意として整備計画の実現に います。 本村としても、村民の総 沼田市、 県及び関係



上沼須町の交差点

高橋幸一郎 議員

新二恵橋」の早期建設を

早期建設を望みます。
日期建設を望みます。
日期建設を望みます。



老朽化がすすむ二恵橋

合 村 長

いため、架け替えの実現まです。欄干の老朽化がひど進展がみられないのが現状国・県に要望しているが、

での間ということで、橋梁

要望していく所存です。ひとなりました。今後も県たところ、今年度施工の運たとのがとなりました。今後も県たところ、今年度施工の運

総合運動公園の有効活用を

が大きな鍵となります。屋 あると考えるが。 の努力とアイデアが大切で 託することによる自立経営 法人にし、管理と運営を委 振興事業団」のような財団 して、横浜市の「スポーツ 内運動場と合宿施設を整備 り安定した運営ができるか 活用され、利用率向上によ れらの施設がいかに有効に 者数、使用料収入ともに向 いるにもかかわらず、利用 資や維持管理費が増大して 思いますが、多額な設備投 らしい環境と施設であると 主自立を推進する上で、こ 上が図られていません。自 他町村に誇れるすば れあいグリーンパー 総合運動公園、ふ

答 村

村長

PRになるものと考えてい 討していきたい。 森山荘」の増改築を視野に ます。現在計画が進行して ます。しかし、財政事情の 季冷涼な気象条件はスポー めた都市との交流事業を検 入れながら、スポーツを含 ンター」の動向や、「昭和の いる「千年の森スポーツセ を活用していきたいと考え ては、できる限り民間活力 厳しい中、施設整備につい できる施設の整備は集客の ツ合宿に適しており、利用 おいて、赤城高原地帯の夏 観光資源に乏しい当村に

林 幸司 議員

新型交付税導入に反対を

テレビデジタル難視聴解消を

間 人口と面積を基本

分される心配があり断固反 人口の多い都市部に多く配 総額削減が目的で、 に配分する新型交付

対を求める。

答 村

長

地方交付税削減には反対

していきたい。

全村内のデジタル

答

村

を求める。 村としての温かい予算措置 難視聴解消に向けた

万円で整備されたテレビ共

234世帯加入、約7千

障害者の負担軽減を

工場再配置補助金の活用を

れているようであり、国のがら廃止に。新法も検討さ 動向を見守りながら施策を 補助金制度も残念な 間 の問題点は、原則1 障害者自立支援法

進費補助金の活用や対応は。

源地域産業再配置促

3社進出による電

工業再配置促進法が廃止

村

長

講じていきたい。

臨時職員の待遇改善を

間

れること。授産施設でも、 8千円を上回り、働く意欲 増となり、働いた分の3~ 月額2~3万円以上も負担 いほど過酷な負担が強いら 割の応益負担で、障害が重

> いただきたい。 減策など緊急措置を講じて が阻害されている。負担軽

今年12月より地上波デジタ

した。また、沼田地域では

ル試験放送が開始予定です。

タル放送への対応がされま 井地区の難視聴は既にデジ るのが良いと考えます。永 上波デジタル放送を導入す 前後の組合負担で改修し地 同受信施設は、200万円



方々にご不便のかからない サービスを利用している



よう対応していきたい。

保育園の完全給食実施を

ものであり改善を求める。 推進、主食と副食は一体の だけの給食は不自然。食育 ご飯持参で、おかず 3~5歳児だけが

金という原則から改善を求

臨時職員は、

事務及び保

村

長

検討していきたい。

条例に基づき今後前向きに ていきたい。退職手当も、 は他市町村を参考に検討し います。待遇改善について

を守り支給するよう改善を 退職金、臨時職員にも条例

種保険への加入が行われて 給休暇や、必要に応じて各 師で750円です。年次有

間

で村長は年5カ月の

退職手当支給条例

育士で時給820円、

調理

求める。同一労働・同一賃

村

完全給食にした場合の年

等十分検討し考慮していき 聞いていないが、費用負担 なる。保護者からの要望は 380k、約125万円に 間米必要量は、3園で2.



7.5

IDATE

全員協議会から

平成18年度財政状況について

8月24日開催



平成18年度の地方交付税及び地方特例交付金等の金額が決定したとの報告がありました。

普通交付税については14億2,759万2,000円で、対前年度1億3,275万1,000円(8.5%)減額となりました。 地方特例交付金は2,043万1,000円で、対前年度93万2,000円(4.4%)の減額、臨時財政対策債は1億5.330万円で、対前年度1.530万円(9.1%)の減額となりました。

また、年々増加していた公債費については、17年度をピークに減少していきますが、実質公債費比率は県 平均値を上回っている状況です。

行政全般にわたる事務事業の効率化を図り、今後とも注意深く慎重な財政運営が望まれます。

千年の森スポーツセンター建設について

千年の森スポーツセンター建設については、2面のサッカー場計画について現在開発の手続中であり、来年の5月上旬頃までに完成させたいとの報告がありました。

昭和村総合福祉センター運営状況について

福祉センター(昭和の湯)については、今年 4月から昭和村社会福祉協議会を指定管理者 として指定をしました。また、6月1日から 利用料・利用時間・開館時間の改正を行った ことから、改正後の昭和の湯の入館状況につ いて報告がありました。

6月全体の入館者数は6,794人で、前年同期に対し2,350人(25.7%)減少し、その内訳は、村内12.9%減、村外37%減となっています。また、7月は6,679人で、前年同期に対し2,790人(29.5%)の減少で、村内7.4%、村外37.3%減と、ともに減少しました。特に、夜間の利用者と70歳以上の村外利用者が減少している状況です。



利用料では、6月が2.1%減、7月が9.8%減となっています。

6月中旬から行っているアンケートでは、時間制限をなくしてほしいという意見や、閉館時間を午後9時 に戻してほしいなどの意見が多くあり、時間延長することについては検討していきたいとのことです。

常任委員会構成について

現在の常任委員会は、総務・民生文教・産業建設常任委員会の3委員会で構成されています。今年11月21日告示、同26日投票の昭和村議会議員選挙から、議員定数が4人削減され12人になることから、6月定例会より協議を重ねた結果、総務民生常任委員会(6人)、文教産建常任委員会(6人)の、2つの委員会構成とすることで9月定例会において議員発議し可決されました。

[DATE . .

堆肥化施設及び産業廃棄物中間処理施設現地調査について 9月8日

平成11年11月1日から施行されている家畜排泄物法により16年11月1日から堆肥等の野積みが禁止されました。

昭和村では、畜産農家が堆肥の管理適正 を図るため、平成14年度から4カ年計画で、 国庫事業・県単事業・リース事業により国 県村の補助を受け、総事業費約9億円を投 じて堆肥化等施設が完成されています。こ れにより本村畜産農家の堆肥化施設は、ほ ぼ整備されたことから、今回現地調査を行 いました。

良質な堆肥が製造されており、今後の課題は堆肥の需要です。幸いにして本村の基幹産業は農業であり、多くの農家の方に、 良い堆肥をより安価で利用していただければと思います。



TKCの発酵処理施設



堆肥生産組合エコオーガニックの施設

「家畜排泄物法とは」

冗語解談

正式名称「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進 に関する法律」で、畜産農家から出る家畜ふん尿の管理基準の設定と利用の促進を図ることにより、有害物質の地下 浸透など生活環境への悪影響を防止するための法律。

みなさんからの請願・陳情

自 平成18年8月8日 至 平成18年8月29日

受理 番号	受 理 年月日	件名	陳情者の 住所・氏名	紹介議員 氏 名		審議 結果
129	H18.8.8	陳情書「手話通訳関連事業」について	利根沼田聴覚障害者協会 会 長 本多健三郎 外1名	吉野藤彦	民 文	趣旨採択
130	H18.8.23	「義務教育費国庫負担制度の維持につい ての意見書」の採択に関する陳情書	群馬県教職員組合 執行委員長 真下治之		民 文	採択
131	H18.8.29	陳情書 地上デジタル放送に関する陳情 について	角田茂		総務	継続
132	H18.8.29	陳情書 村道中田松原線の拡幅工事のお 願いについて	橡久保南部区長 織田澤寛示 森下中組区長 加藤武	金井正夫	産 建	採択

及び群馬県大会ともに優勝すること

練習で培った力を

がとうございました。お陰様で十分 りたくさんのお志を頂き、 県大会出場にあたりまして、 ポンプ操法大会、また、 な準備と練習ができ、利根沼田大会 ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。 6月に行われました利根沼田消防 常日頃より、消防団活動にご理解 8月の群馬 誠にあり 皆様よ

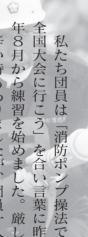


第7分団長 加藤 仁さん



消防に活かしていきたいと思います と技術力を、地域の消火活動、 けられたか、感謝の言葉もありませ たが、そんな時、皆様の激励の言葉 事にも代え難い貴重な経験となりま ん。本当にありがとうございました。 くじけそうになったこともありまし した。肉体的にも精神的にもつらく、 ら練習した日々は、 県大会優勝を目標に、 今後は、長い練習で培った団結力 温かいお心遣いにどれだけ力づ ご支援、ご指導を賜りますよ 今まで同様、消防団に対しま 昨年10月 予防

戦う集団10分団



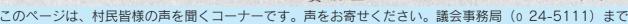
消防団活動に励んでいく所存であり 決して驕ることなく気を引き締めて 8月23日の県大会においてダントツ きなお土産を持って帰れるようにと、 で優勝することができ、とてもうれ れまで戦ってまいりました。 しく思っております。 また、私自身を始め団員一人一人 辛い時もありましたが、 これも村関係者や生越区の皆様方 全国大会でも必ず、優勝という大 その結果6月4日の利根沼田大会、 人の努力、また、 ご協力のお陰であります。 応援してくださった方々のご 信頼と結束でこ 団員一人



第10分団長 青木敏二さん

防操法大会で、23団体中6位に入賞 広域防災センターで行われた全国消 第10分団が、 10月19日に兵庫県立

さいました関係各位に対しまし 心から感謝申し上げます ち消防団員一同願っております。 後もこの状態が続きますよう、私た でも消防活動が盛んであります。 ていると聞きます。昭和村は、 終わりに、最後まで応援してくだ は、コミュニケーションが図ら 消防団活動のしっかりしている 今



優良賞を受賞しました。。

傍 聴 記

敏夫さん 宿) (中

実質公債費比率が18%を上回り 決算議会の状況等知りたいと思 になっていましたので、 が掲載され、 「財政黄色信号」と市町村の記事 去る8月末の新聞に、 初めて村の議会を傍聴させ 我が村もその一つ 17年度 県下 野田

活の向上が図られてきているの 費を必要最小限の歳出にして ながるさらなる施策や、 盤をはじめ水道事業、農業集落 を占める交付税などの依存財源 ますが、これからも、 ていただきました。 減額される中で、税収増につ ためやむを得ない数値と思い 水事業等がほぼ整備され、 昭和村の資本整備は、 これら事業に対しての返済 歳入の67% 各種経 農業基

> 十分な審議がなされてあると思 ませんでしたが、各議員により にあると思います。 かなければならない 聴のみではよく内容がわかり 議場においての決算認定には 厳 い状況

納付義務を果たしてほしいと思 あると思いますが、村民として 対応について各議員の質問は的 全のための県道整備問題等、 いました。 ありました。それぞれの事情は も徴収の努力をしている答弁が を射る内容であったと思います。 しい財政を考慮した上で、 滞納問題については、 般質問においては、 給食費の滞納問題や交通安 行政側 村県民 その

すが、 議会であり、 活力のある村づくりをしていた だけることを期待しています。 少数での議会活動となり大変で 委員会における所管事項も増え、 人で2委員会になり、 今回の議会が定数16人最後 村民のためさらに元気で 次の議会は定数12 各議員の

認定されました。

討論があり、挙手により賛成で

います。熱心な反対討論や賛成

6日~ ●第25回昭和村議会定例会

15日 9日 ●東小学校・南小学校・大河 原小学校運動会

16日 ●昭和中学校運動会

●利根地方総合開発協会県へ陳情 ■昭和村家族経営協定締結者の集い

24日 ●第39回村民運動会

26日 ●議会広報編集特別委員会

30日 ●第一保育園・第二保育園 子育保育園運動会

●親子で知事の話を聞く会

●群馬県町村議会議長会役員会 ■議会広報編集特別委員会

爴

24日 ●広域圏定例議員協議会 ●定例議長会

5日

19日

0

26日 ●総合運動公園下草刈り

31日 ●広域組合議会定例会

8日 ●利根沼田学校組合協議会 利根沼田学校組合議会定例会

16日~ ●利根郡町村議会議長会県外 視察研修 18日

19日 ●子育保育園新園舎竣工式

●群馬県消防ポンプ操法競技会

●議会全員協議会 24日

28日 ●キヤノン研修棟視察 ●利根総合開発協会理事会

●広域圏定例議員協議会



30日 ●議会運営委員会

昭和村議会広報編集特別委員会 委員長 委員長 石井清司 保坂初次

" // 員 澤浦 灣由 夫 横坂幸也 金井正夫

小野一男

刊できましたことに感謝を申し とがんばってきましたが、多く 上げ、ご愛読へのお礼といたし の皆様のご指導ご協力を頂き発 動等を正しく伝えることが使命 目を終えることができました。 てきた私たちですが、今号で役 しながら、2年間編集に当たっ 議会で決まったことや議員活 れない原稿書きに悪戦苦闘

編 室 かり らり